

出展作家

- 伊藤 喜彦
Ito Yoshihiko
- 喜舎場 盛也
Kishaba Moriya
- 佐々木 早苗
Sasaki Sanae
- 西本 政敏
Nishimoto Masatoshi
- 戸來 貴規
Herai Takanori
- 宮間 英次郎
Miyama Eijiro
- 吉澤 健
Yoshizawa Takeshi



人生は



ボーダレス!

Life is Borderless!

Artists Present and Memoirs

作家たちの

結局、表現衝動の謎はわからない。

けれども不可解だからこそ人は惹かれ続けるのだろう。〈はたよしこ〉

今と回想録

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

2024年

7月27日[土] → 10月13日[日]

11:00 ~ 17:00

月曜日休館 (祝日の場合は翌平日)

一般 500円 (450円) 高大生 450円 (400円)

*中学生以下、障害のある方と付添者 1名無料

* () 内は20名以上の団体料金



主催○ボーダレス・アートミュージアム NO-MA、社会福祉法人グロー (GLOW) ~生きることが光になる~

後援○滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力○草の実会草の実工房もく、しがらき会信楽青年寮、中野あいにく会杉の子城山、るんびにい美術館、若竹福祉会、

近江八幡観光物産協会、しみんふくし滋賀、マエダクリーニング仲屋店



20年前にボーダレス・アートギャラリーとして開館したNO-MAでは、多くの作家に出展いただき、魅力あふれる作品を展示してきた。「芸術」とは何か、「表現」とは何かと問いかけるとき、そこには作家が人生をかけた作品があり、支える人たちの姿が見え隠れした。

2023年7月、NO-MA館長に就任した大西暢夫は、多くの作家と出会うなかで「作品が生まれる背景には、家族や支援者の姿が見え隠れしている」と感じていた。

20年の時を経て、再び作家のもとを訪ね、カメラを向け、話を聞いた。作家や家族、支援者たちの声から浮かび上がる制作の軌跡を「作品」「写真」「インタビュー」で振り返るシリーズ展覧会の第1回となる。

私とNO-MAとの関りは開館当初にさかのぼります。絵本作家のはたよしこさんがNO-MAのディレクションをしていた当時から、ともに制作現場を訪ねるなど、作家の日常の姿をカメラに収めてきました。多くの作家と出会うなかで、「おもしろさや不思議さを感じさせられる作品が生まれる背景には、家族や支援者の姿が見え隠れしている」と感じるようになりました。私は、なぜこの作品が生まれてきたのかに興味があります。

ご家族からは、子が障害を持って生まれたことで、「どのように暮らしていけばいいのか、迷ったり悩んだりすることもあった」と聞きます。「この子が生み出す作品に、どれだけ救われたかわからない」という言葉を耳にすることもありました。

開館から20年を迎え、NO-MAで展示した作家たちが、今、何を描いているのか。どのような人たちが支えているのか。もう一度話を聞きたいという思いで、本展企画を考えました。

20年の時を経て、作品の変遷、作家や家族たちの軌跡を「作品」「写真」「インタビュー」で振り返るシリーズの初回となる展覧会です。

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA館長 大西暢夫



伊藤 喜彦
Ito Yoshihiko

喜舎場 盛也
Kishaba Moriya

佐々木 早苗
Sasaki Sanae

西本 政敏
Nishimoto Masatoshi

戸來 貴規
Herai Takanori

宮間 英次郎
Miyama Eijiro

吉澤 健
Yoshizawa Takeshi

Life is Borderless! Artists Present and Memoirs

関連イベント

■トークイベント「作家たちの今と回想録」

大西館長と取材に同行したNO-MAスタッフが、作品を通して作家や家族たちの軌跡をたどり、感じたことなどを語ります。

前編 8月11日(日) 14:00~16:00

後編 9月15日(日) 14:00~16:00

場所 酒游館(近江八幡市仲屋町中6) 定員 各回 30名 +要申込

■映画「しがらきから吹いてくる風」とアフタートーク

窯業の里・信楽を舞台に、障害者施設で生活をしながらこの町で働く人々を描くドキュメンタリー映画を上映します。

8月31日(土) 13:00~15:30

13:00~上映開始、14:45~アフタートーク

登壇 田島征三氏(絵本作家、美術家)

山上徹二郎氏(シングル代表、当映画プロデューサー)

場所 酒游館(近江八幡市仲屋町中6) 定員 30名 +要申込

*バリアフリー対応、音声ガイド/日本語字幕付き

アフタートークは、手話通訳と文字サポートがあります。

【障害などを理由にNO-MAに行くか迷っている方へ】

「さわって楽しめるものはある?」「これが苦手なだけで大丈夫?」「静かにしなくてもいい?」など、あなたやあなたの周りの方が気になっていることや、必要なサポートを教えてください。

合理的配慮の観点から、

できる限りの情報提供やスタッフによる対応を行います。

なお、本展では、見えにくい方や聞こえにくい方、字を読むのが苦手な方に向けての「情報保障」や、さわって楽しむ展示物を準備しています。

詳しくはQRコードからご確認ください。



■常設ワークショップ

出展者・宮間英次郎さんの作品制作を体験できる常設ワークショップを開催します。

期間 展覧会期中

場所 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
ライブラリースペース

関連イベントの
詳細はこちらから



■夏休み特別企画 夜間無料開館

夜のNO-MAを楽しんでいただくため、無料で夜間開放します。

期間 8月10日(土)~12日(月・祝) 17:00~20:00



近江八幡駅からの
ルート案内動画



アクセス

【電車・バス】JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス[長命寺線(6番のりば)]

→乗車 約10分→バス停[大杉町八幡山ロープウェイ口]下車→徒歩 約8分→NO-MA

【車】名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA

※駐車場に限りがありますので満車の際は有料駐車場などをご利用ください。

【駅からレンタサイクル】駅リンくん近江八幡店(近江八幡駅北口)→15分→NO-MA

【駅から徒歩】近江八幡駅→約30分→NO-MA

